

地方公務員健康状況等の現況の概要

【調査対象期間】 令和2年4月1日～令和3年3月31日（令和2年度）

【調査事項】

- I 健康診断等の実施状況に関する調査
- II 定期健康診断等の結果に関する調査
- III 長期病休者の状況に関する調査
- IV 在職職員の死亡状況に関する調査

【対象職員数】 約79万人（主に首長部局の一般職員の約62%に相当）

【調査対象団体】 350団体

○都道府県（47）＋指定都市（20）＝67団体

○特別区＝23団体

○市（A）：政令指定都市を除く県庁所在市・中核市・人口30万人以上の市＝72団体

○市（B）：人口5～10万人の市＝94団体

○町村：人口1～2万人の町村＝94団体

※市（B）及び町村については、毎年任意に都道府県ごとに2団体抽出。

※警察職員、消防職員及び教員は対象外。

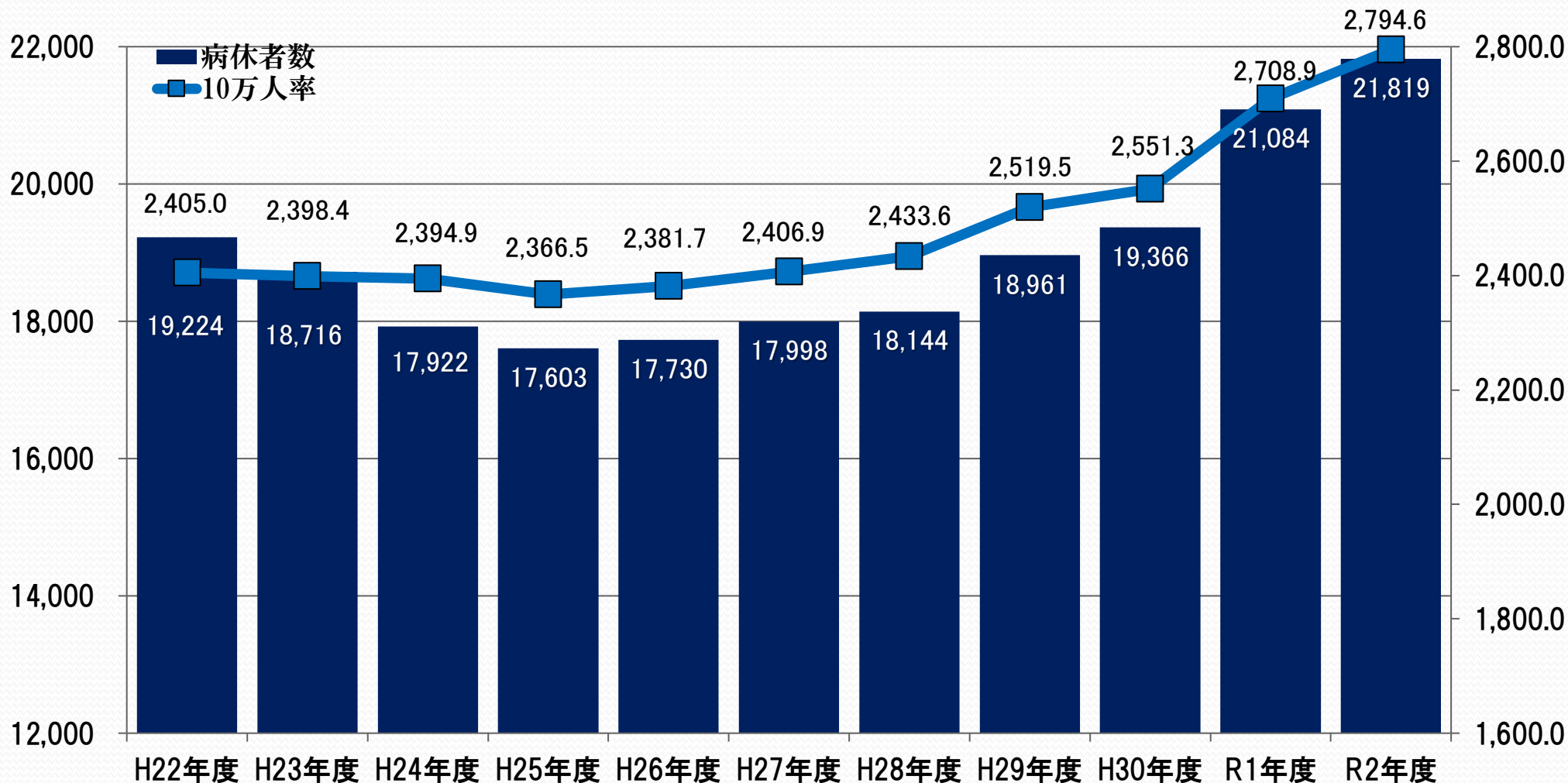
今回調査(令和2年度)の概要

- 1 長期病休者（疾病等により休業30日以上又は1ヵ月以上の療養者）数（10万人率）は、2,794.6人であり、令和元年度より85.7人（3.16%）増加している。
- 2 「精神及び行動の障害」による長期病休者数（10万人率）は、1,713.3人であり、令和元年度より69.4人（4.22%）増加しており、10年前の約1.5倍、15年前の約2.1倍である。
- 3 「精神及び行動の障害」の長期病休者全体に占める割合は、61.3%であり、引き続き増加している。
- 4 在職死亡者数（10万人率）は、81.7人であり、過去10年間は100人以下で推移しており、横ばいの傾向にある。
- 5 一般定期健康診断の有所見率は、79.3%であり、令和元年度より2.4%増加しており、近年は増加傾向にある。

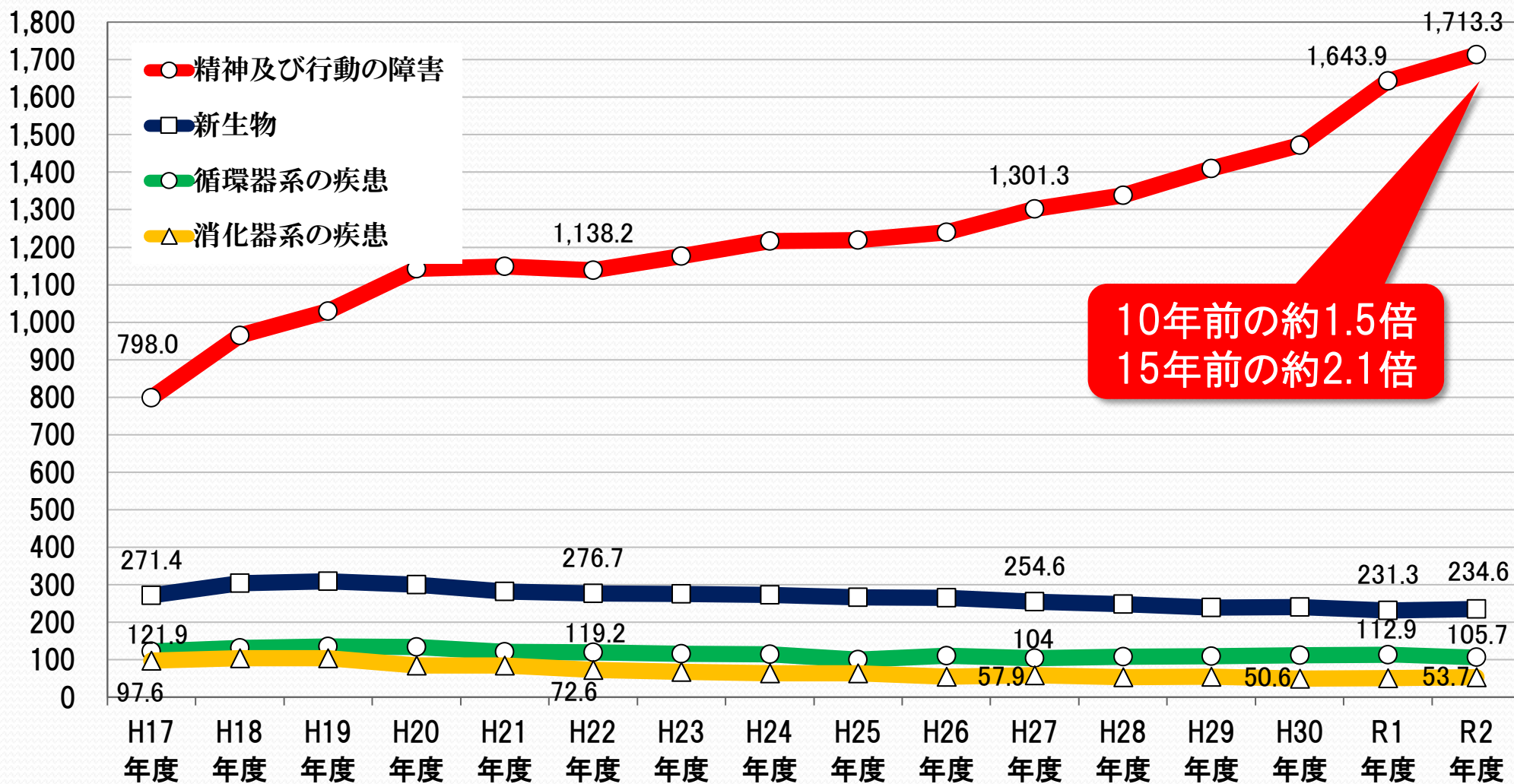
長期病休者数(10万人率)の推移

(長期病休者数(人))

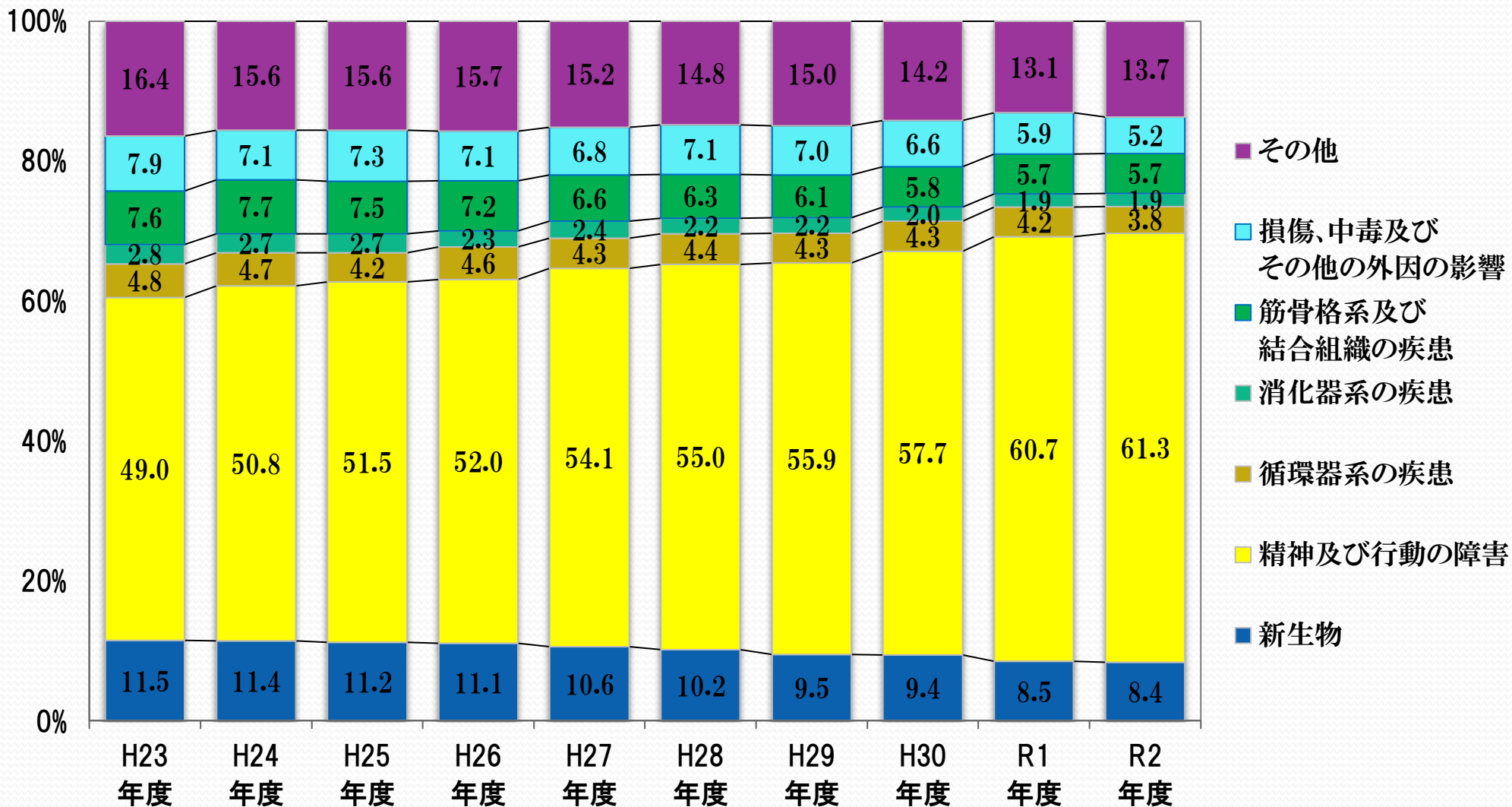
(10万人率(人))



主な疾病分類別長期病休者率(10万人率)の推移



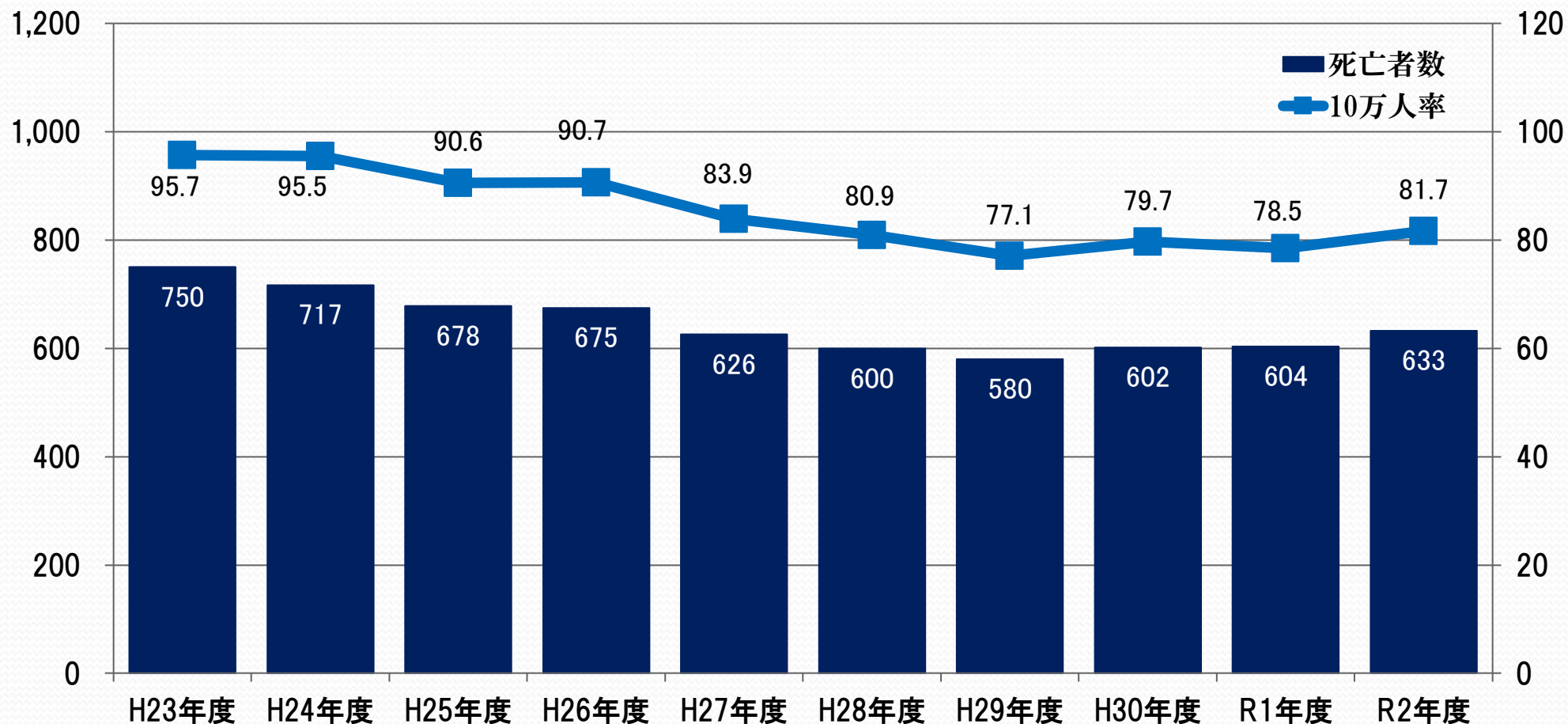
長期病休者の疾病分類別構成比の推移



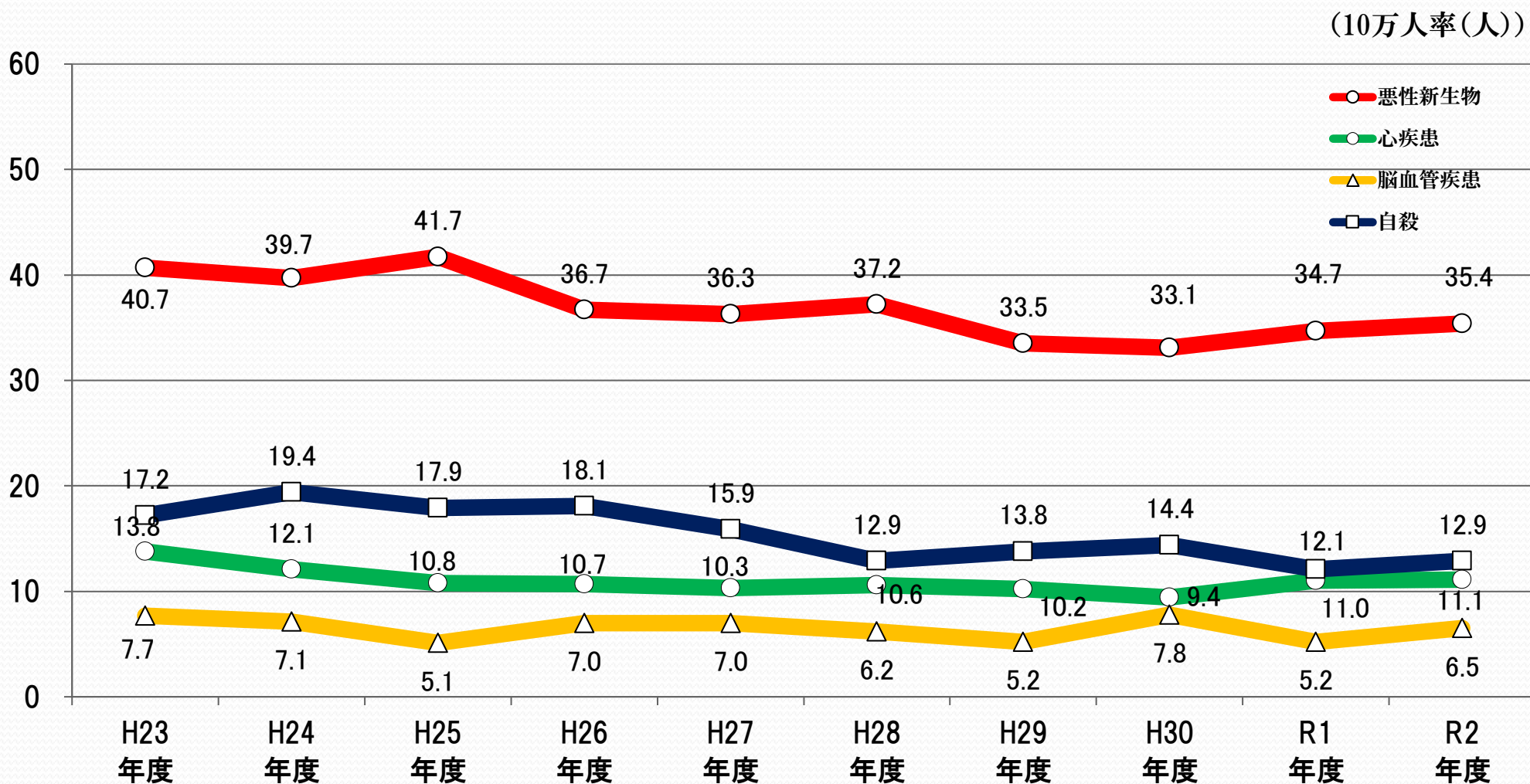
在職死亡者の推移

(死亡者数(人))

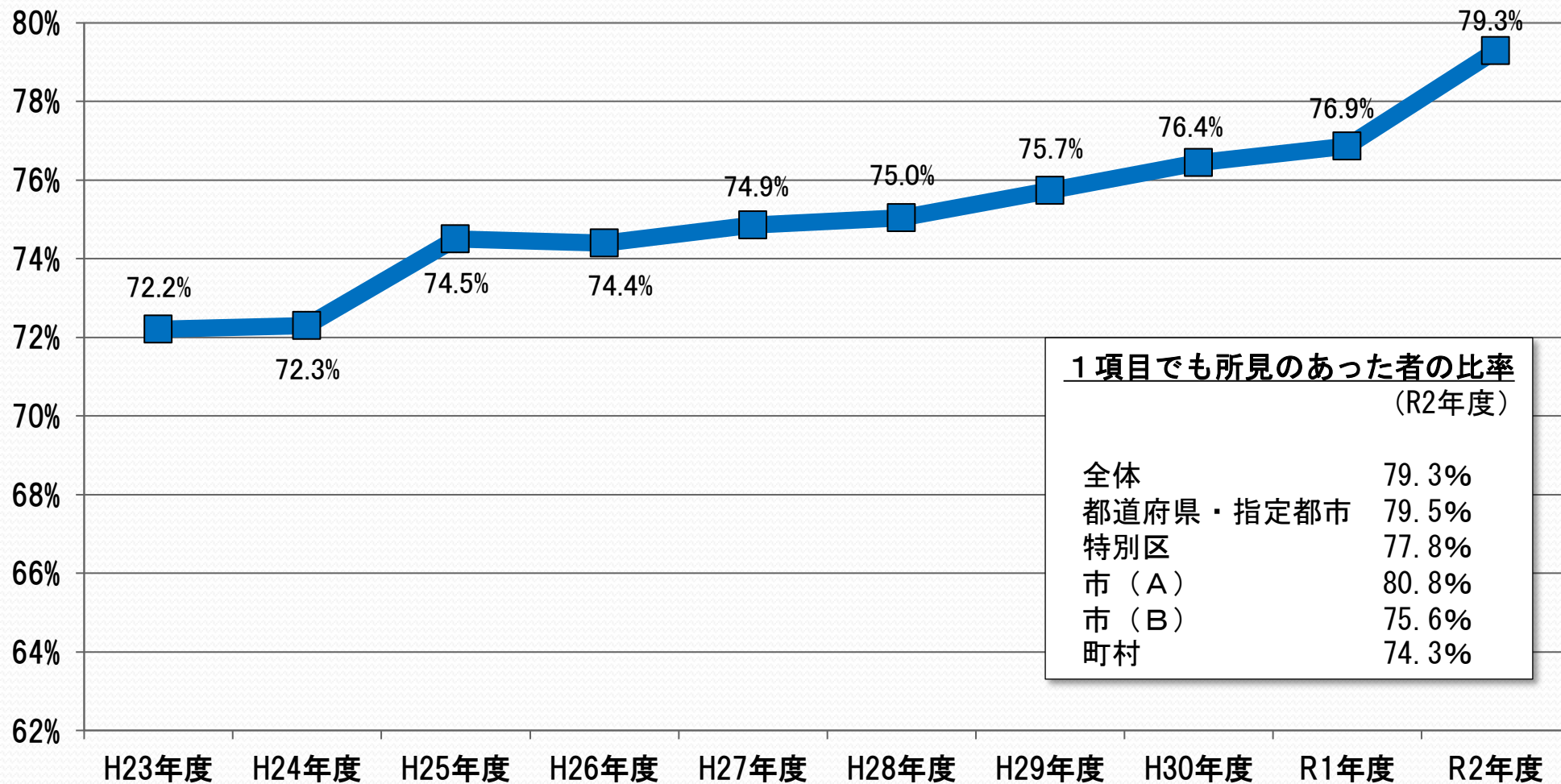
(10万人率(人))



在職死亡率(10万人率)の推移(主な原因別)



一般定期健康診断の有所見率の推移



一般定期健康診断の有所見率(主な検査項目別)

